

## 正 誤 表

「新しい疾患薬理学（改訂第2版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

| 頁   | 該当箇所       | 誤  | 正  |
|-----|------------|--|--|
| 207 | 上から9～13行目  | 覚醒剤、メチルフェニデートはモノアミントランスポーターおよびMAO阻害作用によって、脳内ノルアドレナリン、ドパミンおよびセロトニン神経終末から、それぞれの神経伝達物質の遊離を促進し、さらに、神経終末への再取り込みも抑制してシナプス間隙におけるカテコラミン、セロトニン濃度を上昇させる。 | 覚醒剤はモノアミントランスポーターおよびMAO阻害作用によって、脳内ノルアドレナリン、ドパミンおよびセロトニン神経終末から、それぞれの神経伝達物質の遊離を促進し、さらに、神経終末への再取り込みも抑制してシナプス間隙におけるカテコラミン、セロトニン濃度を上昇させる。メチルフェニデートは、ドパミン及びノルアドレナリントランスポーターに結合し再取り込みを抑制することにより、シナプス間隙に存在するドパミン及びノルアドレナリンを増加させて神経系の機能を亢進するものと考えられている。 |
| 208 | 上から16～17行目 | カフェイン>テオプロミン>テオフィリン  | カフェイン>テオフィリン>テオプロミン  |

2023年10月2日  
株式会社南江堂